

報告日：令和7年3月13日

名 称	令和6年度自然体験交流センター運営委員会
日 時	令和7年3月10日（月） 14時00分～14時55分
場 所	鹿沼市自然体験交流センター研修室
出 席 者	運営委員会委員 13名（別紙のとおり） 事務局 中村所長、野原管理者、福田、益子、高橋、前田
内容及び 結果等	開会前 出席者13名 過半数以上なので会議成立（センター施行規則第15条） 1 開会（中村所長） 2 あいさつ 稲富委員長 3 報告事項 議長 稲富委員長 （1）令和6年度の運営状況について ア）利用状況について（説明者：高橋） イ）学校利用について（ 〃 ：福田） ウ）主催事業について（ 〃 ：益子、前田） 報告事項について質問 （竹澤委員）まだコロナ前と比べて利用人数が回復していない。学校利用、一般利用でなにか理由は？ （事務局） ・学校利用については児童生徒の人数の減少により利用数人数が減っているものの、市内はもちろん市外の利用校の数は増えている。 ・一般利用に関しては、職員数の減少により主催事業の数が以前に比べて少なくなっていることが要因と考えられる。 （藤田委員）東中学校が利用できていないので、対策はないか。 （事務局） 宿泊人数は限られている。学校と何度も協議したが、2泊3日の自然生活体験学習を何週にもわたり実施するのは、学校が回らなくなるため大変痛手とのことで、利用に繋がっていない。 4 協議事項 （1）令和7年度運営方針（案）について （説明者：野原） （2） 〃 学校利用について （ 〃 ：益子） （3） 〃 交流センター主催・共催等事業について （ 〃 ：前田） （4）その他 ※ 原案通り可決 （5）その他

	(竹澤委員) スノーピークと連携し、アクティビティを実施していただき事業を展開できないか。スノーピークの利用促進にもなり、鹿沼市の観光を盛り上げるためにも今後連携を図れるとよい。 (事務局) 次年度の主催事業の中で、第1回ファミリーキャンプがあり、キャンプテクニク等の紹介でスノーピークに入っていただくことが可能と思われる。次年度初めに連絡を取ってみたい。 (竹澤委員) 経済部としてもお手伝いしていきたい。 (廣田委員) 資料の「利用状況説明」について、小学生・中学生・高校生・大人の割合が見えないので、次年度から表記を分けてほしい。 (事務局) 次年度からの表記の工夫を考えたい。⇒次年度形式を検討済み (古林委員) せっかく開催されるのだから、ハード面の準備も綿密に行うべき。		
配布資料	別添の通り		
次回予定			
記 録 者	益子貴子		
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)			
公開・非公開の別	公 開	・ 非公開	(公開の場合) 傍聴人数 0 人

報告事項

(1) 令和6年度の運営状況について

ア) 利用状況について

小中学校で実施している自然生活体験学習の受入施設として、子供たちが主体的に考え、自ら解決策を見出していく過程を重視したプログラムを提供した。また主催事業を中心に、自然体験を通じた親子の触れ合いや、地域の人々との交流を促進する事業を展開することができた。

利用状況

1 宿泊

(単位 人)

区 分		R2	R3	R4	R5	R6(12月末時点)
学 校	高校生以上	0	133	252	261	284
	中学生以下	0	854	1,736	1,958	2,135
	計	0	987	1,988	2,219	2,419
一 般	高校生以上	125	158	557	769	836
	中学生以下	319	431	971	1,145	1,261
	計	444	589	1,528	1,914	2,097
合 計	高校生以上	125	291	809	1,030	1,120
	中学生以下	319	1,285	2,707	3,103	3,396
	計	444	1,576	3,516	4,133	4,516

2 体験施設

(単位:人)

区 分		R2	R3	R4	R5	R6(12月末時点)
学 校	高校生以上	253	428	192	393	473
	中学生以下	1,396	2,515	1,274	2,605	3,553
	計	1,649	2,943	1,466	2,998	4,026
一 般	高校生以上	528	599	1,582	2,230	2,817
	中学生以下	1,393	1,178	2,199	2,572	2,850
	計	1,921	1,777	3,781	4,802	5,667
合 計	高校生以上	781	1,027	1,774	2,623	3,290
	中学生以下	2,789	3,693	3,473	5,177	6,403
	計	3,570	4,720	5,247	7,800	9,693

※ 延べ利用者数。「学校」は市内小中学校に限り、他は一般利用に含む。

令和6年度は、新型コロナウイルス感染防止による行動制限が廃止されたこともあり、利用者数は増加したものの、コロナ禍以前の利用(R1 宿泊 6,414 人 体験 14,856 人)までは回復していない。

イ) 学校利用について

令和6年度 鹿沼市自然体験交流センター学校利用一覧

NO	学 校 名	学 年	利用予定人数(教職員)	利 用 日
1	中 央 小 学 校	4年	58 (5)	10/7 (月) ~ 10/9 (水)
2	東 小 学 校	4年	122 (10)	10/16 (水) ~ 10/18 (金) 10/23 (水) ~ 10/25 (金)
3	西 小 学 校	4年	34 (7)	11/20 (水) ~ 11/22 (金)
4	北 小 学 校	4年	64 (5)	6/5 (水) ~ 6/7 (金)
5	菊 沢 東 小 学 校	4年	55 (6)	5/22 (水) ~ 5/24 (金)
6	菊 沢 西 小 学 校	4年	13 (4)	9/18 (水) ~ 9/20 (金)
7	石 川 小 学 校	4年	30 (4)	10/9 (水) ~ 10/11 (金)
8	津 田 小 学 校	4年	25 (5)	5/29 (水) ~ 5/31 (金)
9	池 ノ 森 小 学 校	3・4年	8 (3)	9/12 (木) ~ 9/13 (金)
10	さ つ き が 丘 小 学 校	4年	81 (9)	5/13 (月) ~ 5/17 (金)
11	み ど り が 丘 小 学 校	4年	71 (7)	6/3 (月) ~ 6/5 (水)
12	北 押 原 小 学 校	4年	70 (5)	9/25 (水) ~ 9/27 (金)
13	加 園 小 学 校	3・4年	14 (4)	9/12 (木) ~ 9/13 (金)
14	板 荷 小 学 校	3・4年	9 (3)	6/19 (水) ~ 6/20 (木)
15	南 摩 小 学 校	4年	10 (5)	5/29 (木) ~ 5/31 (金)
16	上 南 摩 小 学 校	4年	3 (2)	(交流で実施)
17	南 押 原 小 学 校	3・4年	13 (2)	9/19 (木) ~ 9/20 (金)
18	楡 木 小 学 校	4・5年	16 (3)	(交流で実施)
19	み な み 小 学 校	4年	25 (6)	11/5 (火) ~ 11/7 (水)
20	粟 野 小 学 校	4年	33 (11)	10/2 (水) ~ 10/4 (金) (交流で実施)
21	清 洲 第 一 小 学 校	4年		
22	清 洲 第 二 小 学 校	4年		
23	永 野 小 学 校	4年		
24	粕 尾 小 学 校	4年	95 (8)	他施設で実施
①	東 中 学 校	1年		
②	西 中 学 校	1年		
③	北 中 学 校	1年		
④	北 犬 飼 中 学 校	1年		
⑤	北 押 原 中 学 校	1年		
⑥	加 蘇 中 学 校	1年		
⑦	板 荷 中 学 校	1年		
⑧	南 摩 中 学 校	1年		
⑨	南 押 原 中 学 校	1年		
⑩	粟 野 中 学 校	1年		
☆	ア メ ニ テ イ		8 (7)	7/26(金), 8/21(水), 8/23(金), 1/17(金)
☆	富屋特別支援学校鹿沼分校	小学部	21 (11)	7/4 (木) ~ 7/5 (金)
☆	富屋特別支援学校鹿沼分校	中学部	26 (14)	7/16 (火) ~ 7/17 (水)
合 計			1269 (193)	

鹿沼市以外の学校等

1	日光市立落合東小学校	4年	25	(3)	6/13 (木) ~	6/14 (金)
2	日光市立落合西小学校	4年	10	(4)	6/13 (木) ~	6/14 (金)
3	日光市立大沢小学校	4年	31	(3)	6/12 (水) ~	6/13 (木)
4	日光市立小林小学校	4年	15	(1)	6/24 (月) ~	6/25 (火)
5	日光市立下原小学校	4年	31	(4)	7/8 (月) ~	7/9 (火)
6	日光市立鬼怒川小学校	4年	10	(3)	11/28 (木) ~	11/29 (金)
7	日光市立猪倉小学校	4年	17	(3)	6/11 (火) ~	6/12 (水)
8	日光市立大室小学校	4年	51	(6)	10/31 (木) ~	11/1 (金)
9	日光市立今市小学校	4年	37	(5)	6/27 (木) ~	6/28 (金)
10	日光市立今市第二小学校	4年	49	(4)	11/7 (木) ~	11/8 (金)
11	日光市立小来川小学校	3・4年	5	(3)	6/27 (木) ~	6/28 (金)
12	日光市立中宮祠小学校	3年	5	(3)	6/27 (木) ~	6/28 (金)
13	壬生町立羽生田小学校	4・5年	13	(4)	10/29 (火) ~	10/30 (水)
14	栃木市立太平西小学校	4年	70	(6)	6/17 (月) ~	6/18 (火)
15	栃木県立盲学校	4~6年	4	(5)	7/17 (木) ~	7/18 (金)
16	栃木県立聾学校	4~6年	10	(10)	7/9 (火) ~	7/10 (水)
17	栃木県立今市特別支援学校	中1・2	7	(6)	6/25 (火) ~	6/26 (水)
18	墨田区特別支援学級合同宿泊	5・6年	33	(22)	11/11 (月) ~	11/13 (水)
			31	(19)	11/13 (水) ~	11/15 (金)
合計			454	(114)		

ウ) 主催事業について

- 1 令和6年度主催事業計画の方針
 - ・前年度参加者の多かった事業、満足度の高かった事業を継続実施する。
 - ・初参加者を優先する。

2 実施状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業数	5事業実施	16事業	17事業	12事業	12事業
参加者数	123	353	1039	970	約1200

事業名	第1回 自然体験学習関係者説明会	実施状況
主 旨	自然体験交流センターを利用する学校の教職員、および学校支援員を対象に、『交流センターを利用した効果的体験学習についての理解を深める』『プログラム体験を通して活動内容を理解し、指導や支援に生かす』ことを目的とする。	教員等 21名参加
期 日	4月12日(金) 日帰り	
主な内容	仲間作り体験、火おこし体験、ピザ試食、施設見学、利用説明、質疑応答など	
参加対象	小中学校の教職員および支援員	
募集定員	40名程度	

事業名	デイ☆キャンプ	実施状況
主 旨	キャンプファイアを通して、自然への関心を高めるとともに、野外活動に興味をもつ人同士の交流を深め、自然体験活動の楽しさを味わう。	21組 68名参加
期 日	4月20日(土) 日帰り	
主な内容	ピザづくりコース、ハイキングコース、キャンプファイア	
参加対象	市内小中学生とその家族	
募集定員	14組程度	

事業名	第1回 窯焼きピッツァに挑戦	実施状況
主 旨	ピザ作りを通して、自然体験交流センターの活動内容への理解を深めるとともに、自然への関心を高め、親子のふれ合いと絆を深める。	15組 47名参加
期 日	5月25日(土) 日帰り	
主な内容	ピザづくり講習、選択創作活動(希望者)	
参加対象	自然体験やピザ作りに興味のある方(小学生以下は保護者同伴)	
募集定員	16組70名程度	

事業名	「第1回森の教室」～ファミリーキャンプ～	実施状況
主 旨	家族でキャンプを始めようとする親子のふれあいや多くの家族との交流を深めるとともに、自然への関心を高め、キャンプの楽しさを学ぶ。	16組 53名参加
期 日	6月22日(土) 23日(日) 1泊2日	
主な内容	テント設営、バーベキュー、キャンプファイア、朝食作り、川遊び	
参加対象	市内小中学生とその家族	
募集定員	16家族程度	

事業名	かぬまっ子わくわくキャンプ	実施状況
主 旨	板荷の豊かな自然の中で、いろいろな人々に接しながら様々な体験をすることで、子どもたちが協調性・自主性・社会性を養うとともに、みんなで取り組む楽しさや喜びを味わう。	28名参加
期 日	8月3日(土)～8月6日(火) 3泊4日	
主な内容	仲間作りゲーム、トレジャーアドベンチャー、ナイトゲーム、魚つかみ、チャレンジ班活動、ピザ作り、防災キャンプ、川下り、キャンプファイア	
参加対象	鹿沼市内小学校4年生から中学校2年生まで	
募集定員	30名程度	

事業名	第2回自然体験学習関係者説明会	実施状況
主 旨	自然体験交流センターを利用する学校の教職員、および学校支援員を対象に、『交流センターを利用した効果的体験学習についての理解を深める』『野外炊飯やプログラム体験を通して活動内容を理解し、指導や支援に生かす』ことを目的とする。	4名参加
期 日	8月22日(木) 日帰り	
主な内容	仲間作り体験、火おこし、ピザ試食、利用の仕方の説明、質疑応答など	
参加対象	市内市小・中学校教職員・特別支援・個別支援担当教員及び鹿沼市以外の小・中学校教職員等	
募集定員	15名程度	

事業名	「第2回森の教室」～板荷星麺所～	実施状況
主 旨	豊かな自然の中で、親子のふれあいや多くの家族との交流を深め、自然や食に関する関心を高める。	10組 30名参加
期 日	10月19日(土)～20日(日)	
主な内容	木の実クラフト、星と月についての説明、星の観望、ラーメン作り	
参加対象	市内小中学生とその家族	
募集定員	14組程度	

事業名	センター祭り わくわくの森交流広場（無料開放デー）	実施状況
主 旨	交流センターを広く一般に1日開放することにより、さらなる市民及び県内外への利用促進を進める。さらに学校の活動紹介をはじめ、団体や個人に対するPRと利用者及び大学生ボランティア等との交流を図ると共に、管理運営スタッフ会議の活動促進を図り、板荷地区の活性化を促す。	約800名来所
期 日	11月16日（土）9時30分～14時30分	
主な内容	創作活動体験コーナー、食体験コーナー、地元お囃子・Diamond・さつきドリーマーズ・ツナグスポーツアカデミーによる発表ステージ、フリー出演コーナー、木工教室	

事業名	初めてのそば打ち	実施状況
主 旨	そば作りを通して、自然体験交流センターの活動内容への理解を深めるとともに、参加者同士が交流し、そば打ちの基本と楽しさを学ぶ。	11名参加
期 日	12月16日（土） 日帰り	
主な内容	そばの打ち方、講義&実技、質疑応答	
参加対象	初めてそば打ちをする方	
募集定員	10名程度	

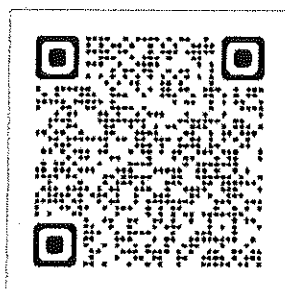
事業名	第2回 窯焼きピッツァに挑戦	実施状況
主 旨	ピザ作りを通して、自然体験交流センターの活動内容への理解を深めるとともに、自然への関心を高め、親子のふれ合いと絆を深める。	17組 45名参加
期 日	1月13日（土） 日帰り	
主な内容	ピザづくり講習、キーホルダー作り（希望者）	
参加対象	自然体験やピザ作りに興味のある方（小学生以下は保護者同伴）	
募集定員	16組 70名程度	

事業名	ちびっこキャンプ	実施状況
主 旨	豊かな自然の中で、親子のふれあいを深め、自然や環境に関する関心を高めるとともに、就学へむけて家族同士の交流を深める。	17組 48名参加
期 日	2月8日（土） 日帰り	
主な内容	ピザづくり、センター内簡単ウォークラリー、キーホルダーづくり等	
参加対象	令和7年に小学校へ就学する市内在住の年長児とその家族	
募集定員	70名程度	

事業名	「第3回森の教室」～ドキドキ☆お別れ宿泊～	実施状況
主 旨	さまざまな人々との交流を深め、協調性・自主性を養うと共に、みんなで取り組む楽しさや喜びを味わう。自然への関心を高め、自然への興味を深める。	18組 58名応募
期 日	3月8日（土）9日（日） 1泊2日	
主な内容	ハイキング、仲間作りゲーム、夕食作り、キャンプファイア、思い出の物づくりなど	
参加対象	市内小学校4年生～6年生のグループ	
募集定員	30名程度	

3 今年度の反省

- (1) 昨年より、募集定員や食材・調理器具等の提供の仕方をコロナ禍以前の方式に戻し対応してきた。今年度は、食事や宿泊を伴う事業にも多く応募が集まり、安心しながら積極的に活動してくださっている様子が見られた。
- (2) かぬまっ子わくわくキャンプ参加者は、小中学生は定員を若干超える28名、実行委員のボランティア学生は14名の参加だった。子どもたちの活動を安全に進めるために、1班2～3名の実行委員を配置する体制で1班5～6名5グループ編制とした。天候の影響でプログラムの入れ替えはあったが、予定していた活動をすべて行うことができた。
- (3) 日帰りの事業の応募数がとても多い。特に小学校低学年や一昨年度から始めたちびっこキャンプ（幼児対象）での参加親子が多い。自然体験交流センターの利用促進、そして野外活動を推進するきっかけづくりとなりつつある。
- (4) 初めてのそば打ちでは、管理運営スタッフ会議講師部会の講師により、初めてそばを打つ方にも失敗しないような指導を頂き、参加者全員が自分で打った蕎麦に大変満足してくださった。貴重な成人向けの事業のため、来年度も様々な方法で周知を図り、センターに足を運びきっかけにしていきたい。
- (5) ドキドキ☆お別れ宿泊では、小学校卒業前の6年生グループだけでなく、4・5年生の応募や、6年生を交えたスポ少等の応募も多くなった。応募多数のため、6年生を優先し、他抽選にて参加者決定を行った。
- (6) Microsoftフォームズを活用し、申し込み、人数把握、アンケートの実施などを行うことで参加者の利便性や業務の効率化を図ることができた。
- (7) このような情勢だからこそ、市民の憩いの場として、当センターの役割は大きい。来年度も、内容や方法を工夫し、可能な限り主催事業を実施していきたい。



★令和6年度の主催事業について、交流センターのホームページにて報告しています。

自然体験交流センターは、山村の自然、文化、産業、人材等を活用した体験の機会を通じて、山村及び森林に対する理解を深めるとともに、地域の活性化を図るための施設として、平成18年に設置された。

◎ 課 題

1 利用者の減少

少子化の進展により、利用者の中心である児童・生徒数が減少している。またレジャーの多様化が進み、利用者数が増えないことが原因と考えられる。

2 維持管理費の増加

経年により、修繕等の必要箇所も増え、また近年の物価上昇により、光熱費などを中心に費用負担が増している。

令和7年度鹿沼市自然体験交流センター運営方針(案)

- 1 自然体験や生活体験が豊富な子供は、自己肯定感が高く、道徳観や正義感が育つ傾向にある。自然生活体験学習の充実を図り、提供プログラムの充実に努める。
- 2 「森の教室」や「かぬまっ子わくわくキャンプ」などを中心に、自然体験を通じた親子の触れ合いや、地域の人々との交流を促進する事業を展開する。
- 3 市内外の大学生と連携した事業を展開し、将来に向けた人材育成を図る。
- 4 ホームページやSNSなどを通じたPRを充実させ、首都圏などを中心に利用を働き掛けることで、利用促進を図る。
- 5 施設の維持管理に必要な費用については、利用料金の今後の見直しなども含め、財源の確保に努める。

(2) 令和7年度の学校利用について

令和7年度 鹿沼市自然体験交流センター学校利用一覧

NO	学 校 名	学 年	利用予定人数(教職員)	利 用 日
1	中 央 小 学 校	4年	51 (6)	10/15 (水) ~ 10/17 (金)
2	東 小 学 校	4年	144 (12)	5/19 (月) ~ 5/21 (水) 5/26 (月) ~ 5/28 (水) 6/2 (月) ~ 6/4 (水)
3	西 小 学 校	4年	21 (3)	7/9 (水) ~ 7/11 (金)
4	北 小 学 校	4年	59 (5)	6/23 (月) ~ 6/25 (水)
5	菊 沢 東 小 学 校	4年	55 (5)	9/24 (水) ~ 9/26 (金)
6	菊 沢 西 小 学 校	4年	13 (3)	5/21 (水) ~ 5/23 (金)
7	石 川 小 学 校	4年	26 (4)	10/7 (火) ~ 10/9 (木)
8	津 田 小 学 校	4年	24 (3)	6/16 (月) ~ 6/18 (水)
9	池 ノ 森 小 学 校	3・4年	2 (2)	9/11 (木) ~ 9/12 (金)
10	さ つ き が 丘 小 学 校	4年	106 (9)	6/9 (月) ~ 6/13 (金)
11	み ど り が 丘 小 学 校	4年	70 (6)	5/28 (水) ~ 5/30 (金)
12	北 押 原 小 学 校	4年	75 (7)	7/7 (月) ~ 7/9 (水)
13	加 園 小 学 校	3・4年	15 (3)	9/11 (木) ~ 9/12 (金)
14	板 荷 小 学 校	3・4年	10 (2)	6/26 (木) ~ 6/27 (金)
15	南 摩 小 学 校	4年	6 (2)	5/21 (水) ~ 5/23 (金)
16	上 南 摩 小 学 校	4年	3 (2)	(交流で実施)
17	南 押 原 小 学 校	3・4年	11 (3)	南押原小 10/28(火)~10/29(水) 楡木小 10/28(火)~10/30(木)
18	楡 木 小 学 校	4年	12 (2)	(交流で実施)
19	み な み 小 学 校	4年	25 (4)	9/17 (水) ~ 9/19 (金)
20	粟 野 小 学 校	4年	39 (11)	10/1 (水) ~ 10/3 (金) (交流で実施)
21	清 洲 第 一 小 学 校	4年		
22	清 洲 第 二 小 学 校	4年		
23	永 野 小 学 校	4年		
24	粕 尾 小 学 校	4年		
①	東 中 学 校	1年		他施設で実施予定
②	西 中 学 校	1年	125 (7)	5/12 (月) ~ 5/16 (金)
③	北 中 学 校	1年	129 (12)	4/28 (月) ~ 5/2 (金)
④	北 犬 飼 中 学 校	1年	71 (6)	5/7 (水) ~ 5/9 (金)
⑤	北 押 原 中 学 校	1年	80 (7)	7/2 (水) ~ 7/4 (金)
⑥	加 蘇 中 学 校	1年	6 (2)	6/4 (水) ~ 6/6 (金)
⑦	板 荷 中 学 校	1年	14 (2)	6/25 (水) ~ 6/27 (金)
⑧	南 摩 中 学 校	1年	16 (5)	6/4 (水) ~ 6/6 (金)
⑨	南 押 原 中 学 校	1年	27 (6)	6/30 (月) ~ 7/2 (水)
⑩	粟 野 中 学 校	1年	32 (5)	4/23 (水) ~ 4/25 (金)
☆	ア メ ニ テ イ		未定	7/25(金)、8/22(金)、8/27(水)、1/16(金)
☆	富屋特別支援学校鹿沼分校	小学部	10 (8)	6/19 (木) ~ 6/20 (金)
☆	富屋特別支援学校鹿沼分校	中学部	5 (5)	6/19 (木) ~ 6/20 (金)

鹿沼市以外の学校等

1	日光市立落合東小学校	4年	28 (3)	10/20 (月) ~ 10/21 (火)
2	日光市立落合西小学校	4年	20 (5)	交流で実施
3	日光市立大沢小学校	4年	29 (3)	9/10 (水) ~ 9/11 (木)
4	日光市立小林小学校	4年	9 (3)	10/23 (木) ~ 10/24 (金)
5	日光市立下原小学校	4年	20 (4)	10/23 (木) ~ 10/24 (金)
6	日光市立鬼怒川小学校	4年	12 (3)	7/15 (火) ~ 7/16 (水)
7	日光市立三依小学校	4年	1 (2)	交流で実施
8	日光市立猪倉小学校	4年	23 (3)	9/29 (月) ~ 9/30 (火)
9	日光市立大室小学校	4年	49 (5)	11/27 (木) ~ 11/28 (金)
10	日光市立今市小学校	4年	38 (5)	11/6 (木) ~ 11/7 (金)
11	日光市立今市第二小学校	4年	45 (5)	9/4 (木) ~ 9/5 (金)
12	日光市立南原小学校	4年	63 (5)	11/20 (木) ~ 11/21 (金)
13	栃木市立大平西小学校	4年	72 (5)	7/14 (月) ~ 7/15 (火)
14	栃木市立真名子小学校	4・5年生	13 (4)	11/18 (火) ~ 11/19 (水)
15	栃木県立盲学校	1~6年	9 (13)	7/11 (金)
16	栃木県立聾学校	4~6年	8 (9)	7/16 (水) ~ 7/17 (木)
17	栃木県立今市特別支援学校中学部	1年	9 (7)	10/6 (月) ~ 10/7 (火)
18	栃木県立富屋特別支援学校小学部	4年	26 (15)	10/30 (木) ~ 10/31 (金)
19	墨田区特別支援学級合同宿泊	5,6年	28 (17)	11/10 (月) ~ 11/12 (水)
			28 (18)	11/12 (水) ~ 11/14 (金)

令和7年度 交流センター主催・共催等事業

親子を対象とした事業

◇森の教室

豊かな自然の中で、親子のふれあいや多くの家族との交流を深めるための事業です。

※わくわくネイチャー事業※

第1回9月20日（土）～21日（日）

これからキャンプを始めてみたい方にノウハウを基礎の基礎からお伝えします

第2回10月18日（土）～19日（日）

自然の中で野外調理やクラフト活動を通して家族の絆を深めましょう。

第3回3月7日（土）～8日（日）

学年最後の思い出づくりを目的とした、子どもたちだけの宿泊学習です。

◇ちびっこキャンプ2月11日（水）

未就学児の子ども（年長児優先）とその家族を対象に、自然体験の日帰りキャンプを体験していただけます。

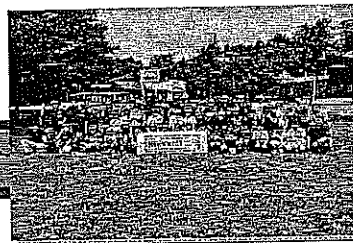
子どもを対象とした事業

◇かぬまっ子わくわくキャンプ

※わくわくネイチャー事業※

8月7日（木）～8月10日（日）3泊4日

多くの人々や自然の中で、様々な体験を通して、子どもたちが協調性・自主性・社会性を養い、みんなで取り組む楽しさや喜びを味わうための事業です。



一般利用者を対象とした事業

◇窯焼きピッツァに挑戦！

12月14日（日）・1月17日（土）

センター自慢の石窯で焼きあげて食べま

◇初めてのそば打ち！

11月29日（土）

初めてそば打ちを体験する方向けの講座で

◇自然体験交流センターまつり

11月15日（土）

センターを1日開放します。

◇キャンプ受け入れ事業

フリーキャンプを受け付ける。西林間をフリーテント場として開放。受け入れ可能日はホーム

自然体験促進事業 他

◇デイ☆キャンプ

4月19日（土）

自然体験と野外調理の2つのコースがわかれて、日帰りのキャンプを体験できます。

◇自然体験学習関係者説明会

※指導者のためのスキルアップ講習会

4月11日（金）

【学校関係者対象】

今年度センターを利用する学校関係者などを対象に、利用のための手続きや活動内容を理解し、指導や支援に生かされます。



鹿沼市自然体験交流センター

〒321-0111 鹿沼市板荷6130

TEL 0289-64-8760 FAX 0289-64-8886



鹿沼市自然体験交流センター運営委員会 関係条例および規則

鹿沼市自然体験交流センター条例（抜粋）

（運営委員会）

第15条 センターの運営に関する事項を協議するため、鹿沼市自然体験交流センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

- 2 運営委員会は、委員15人以内をもって組織し、市長が委嘱し、又は任命する。
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、再任されることを妨げない。

鹿沼市自然体験交流センター条例施行規則（抜粋）

（運営委員会）

第13条 条例第15条に規定する鹿沼市自然体験交流センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）の委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

- （1）市内小中学校長
- （2）市内小中学校PTA関係者
- （3）青少年育成団体関係者
- （4）知識経験を有する者
- （5）関係行政機関の職員
- （6）市議会の議員
- （7）社会教育委員
- （8）市の職員

（委員長及び副委員長）

第14条 運営委員会に委員長及び副委員長1人を置き、委員のうちから互選する。

- 2 委員長は、運営委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第15条 運営委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 運営委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

（運営委員会への委任）

第16条 前3条に定めるもののほか、運営委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が運営委員会に諮って定める。